



大樹のこころ

健やかな学期

この間、2学期が始まったと思っていたら、今日で終業式。月日が流れるのは早いものです。振り返ってみると、学校全体で進化を感じた学期でした。どんな進化があったのでしょうか。

一つ目は校舎の進化です。1年に及ぶ校舎改修工事が完了しました。引っ越し作業の大変さや校舎・駐車場などの利便性の低下、運動場をはじめとする敷地の狭量化など多くの問題がありましたが、無事に終わることができました。工事中には不便を感じましたが、新しい教室での生活は、子供たちに明るさをもたらしてくれました。



二つ目は授業の進化です。自分は授業を観るのが好きで、毎日校内巡視をしています。どの教室に出向いても、子供たちが生き生きと授業に参加する姿を目にします。生き生きと参加できるというのは、教室に「安心感」がある証拠です。「自分の意見をどう思われるか」「馬鹿にされたら」「間違ったら」といった不安があると、子供たちは授業参加に消極的になってしまいます。本校の先生方は、子供たちが安心して自分自身を表出できるクラスを作ってくれています。11月に学校評議委員会が行われ5名の評議員さんが、授業の様子を参観されました。子供主体で温かい雰囲気での授業に感激してくださいました。ある評議員さんが「このような素晴らしい授業をやっていたら不登校の数が減っているのではないですか」と言ってくださいました。本当に嬉しいお言葉でした。授業の中身も参加するだけでなく、子供がしっかりと思考する深い学びをもたらすものになってきています。3学期に子供たちと先生が、どんな授業を見せてくれるのか今から楽しみです。



三つ目は生活態度の進化です。挨拶がどんどん素晴らしいものになってきました。挨拶は「心のバロメーター」です。明るく元気な挨拶ができる子は、心が安定していて健やかです。逆に挨拶ができない時は、何か悩み事を抱えていることが多いものです。大樹寺小の子供たちの挨拶の様子は、多くの子が健やかな生活を送っていることを表しています。これは授業と密接な関係があります。学校生活の中で一番長い時間を要している授業。その授業での満足感があるからこそ、心が安定していきます。心が安定しているから、友達同士のトラブルも少なくなる。そして教室に温かな空気がある中で行われる行事が、子供たちの前向きな意欲へとつながっていく。現在、大樹寺小は良いスパイラルにあると思っています。2学期は健やかな学期だったと言えます。

充実した日々を終え、いよいよ1年の集大成となる3学期を迎えます。それに備えて、明日からはちょっとした充電期間の冬休み。家族で穏やかな日々を過ごし、心のエネルギーを貯めてほしいと思います。良き、2024年でした。皆さん、良いお年を。